

概要

モバイル・デバイス、クラウド・ベースのサービス、パートナーやサードパーティの開発者などに対して企業がデータを開放する必要性が高まるにつれ、APIはいたるところで利用されるようになってきました。CA API Gatewayは社内のAPIへの取り組みに対応し、ビジネスが新しいやり方でデータを使えるようにする唯一のソリューションで、革新、顧客満足度、効率性の向上を推進します。CA API Gatewayはポリシー管理機能とランタイム・ポリシー適用機能を組み合わせ、場所にかかわらず企業とエンドユーザの間に中央のポリシー適用ポイントを提供します。

主なメリット / 成果

- **セキュリティ:** 企業資産の一元的な管理と保護
- **制御:** トラフィックを優先することで、APIの可用性と反応性を確保
- **適合と構成:** API機能のサブセットとスーパーセットで構成されるAPIを作成します。
- **変換:** レガシー・アプリケーションと新しいアプリケーション、レガシー・データと新しいデータの相互変換

主な特長

- **セキュリティ:** 徹底した脆弱性テストをクリアしており、OAuth、SAMLおよびRADIUSをサポートする一般的なIAMシステムと統合します。
- **性能とスケーラビリティ:** クラスタ化されたアーキテクチャにより、多数のゲートウェイ全体にわたって、自動フェイルオーバーを伴ったリニアなスケーラビリティを提供します。アプリケーション・レベルのスロットリング機能と優先順位付け機能もあります。
- **管理性:** 開発 / テスト / 本番の移行をグローバルな管理ツールで処理し、エンタープライズBI、分析およびレポート・ツールと統合できます。
- **柔軟性:** Docker、AWS、Azureなど、複数のフォーム・ファクタと実装モデルで、さまざまなプラットフォームをサポートします。レガシーシステムと、新たなシステム全体でプロトコルをブリッジングでき、コンテンツベースのルーティング機能も備えています。
- **拡張性:** プラグイン・フレームワークが新たなトランスポートとIDプロバイダを追加し、エンタープライズ・マネジメントとBI製品が深く統合します。

ビジネス上の課題

企業はクラウドとモバイルを積極的に導入しようとするとき、いくつかの深刻なビジネス上の課題に直面します。まず重要な問題は、企業のアプリケーションやデータが企業の手を離れた後に、それらに対する制御をどのように維持するかということです。また、以下のような課題もあります。

オンプレミスのデータとアプリケーションをサードパーティに開放する: APIを介して、オンプレミスのデータやアプリケーションをサードパーティに開放すると、さまざまなセキュリティ上の問題が生じます。また、APIを公開することで、採用の増加に伴ってスケーラビリティや管理性を確保したり、幅広いユーザが使用できるようにデータを適合するという課題も生まれます。

プロトコル・オーケストレーション: 企業がオープン・エンタープライズ・モデルに移行する場合、環境内の各種レガシー・システムに分散されたデータ / アプリケーションをクラウドやモバイルと接続する必要性が生じます。これらのさまざまなソリューション、ID管理、プロトコル、データをシームレスなソリューションに接続できることはきわめて重要です。

管理性: 企業が直面している最大の課題の1つとして、データセンタとクラウド内のレガシー・ソリューションとオープン・ソリューションで構成されたフレームワークの管理方法が挙げられます。さらに、新しいソリューションは社内のレポート処理 / 分析 / BIツールに統合しなければなりません。

ソリューションの概要

CA API Gatewayを使用すれば企業は自社のデータやアプリケーションを、社内およびサードパーティの開発者の両方に対して選択的に開放することができ、既存のIAMソリューションと統合してプラグ&プレイ・ソリューションを構築できます。CA API Gatewayはさまざまなフォーム・ファクタで展開し、容易に規模を拡大でき、フェイルオーバー環境にデプロイして高可用性を得ることができます。このゲートウェイはPCI-DSSに準拠するように構成でき、標準装備のPKIエンジン、FIPS 140-2レベルの暗号化、堅牢なRBACシステムおよびSAMLサポートを搭載しています。

CA API Gatewayには、プロトコル・ブリッジング機能があり、さまざまなプロトコル間の完全な変換（レガシーからRESTやJSONへ）が可能で、レガシーからモバイル、クラウドおよびソーシャルへのブリッジングを行えます。

そして最後に、CA API Gatewayは既存の管理ソリューションにプラグインできるだけでなく、データセンタとクラウド全体にわたって容易に管理することができます。また、動的なポリシー管理により効率的なレスポンスタイムを維持できます。

	機能	API Gateway Essentials	API Gateway Enterprise	Mobile API Gateway
API 管理	API のライフサイクルの管理と、環境間のポリシーの移行	✓	✓	✓
	トラフィックのスロットリング、優先順位付けおよびルーティングによる SLA 準拠	✓	✓	✓
	カスタマイズ可能な API の構成と仮想化	✓	✓	✓
	ポリシー管理とゲートウェイ管理用の RESTful インタフェース	✓	✓	✓
	デバッグとバージョン管理用のトラブルシューティング・ツール	✓	✓	✓
セキュリティ	FIPS 140-2 への準拠と CommonCriteria 認定	✓	✓	✓
	脅威の検知とメッセージ・コンテンツ・フィルタリング	✓	✓	✓
	業界標準に基づいたアクセス管理	✓	✓	✓
	サードパーティ IAM システムとの統合とカスタマイズ可能な実行の分岐	✓	✓	✓
ポリシーの作成と編集	ポリシー開発、デバッグおよびトラブルシューティング・ツール	✓	✓	✓
	再利用可能なポリシー記述書と、カスタマイズ可能なポリシー実行の分岐	✓	✓	✓
	管理ベースのサービスポリシーと運用ポリシー	✓	✓	✓
	開発、テスト、ステージングおよび本番におけるポリシー・ライフサイクルの管理	✓	✓	✓
エンタープライズ規模の管理	企業とクラウド全体にわたるすべてのゲートウェイを単一のビューでリアルタイムに表示	✓	✓	✓
	環境、設定および地域間のポリシー移行の一元化	✓	✓	✓
	設定可能なレポートによる、ゲートウェイ運用および SLA に関する知識と知見	✓	✓	✓
	構成ファイルとポリシーの一元的バックアップ機能	✓	✓	✓
統合	SaaS 連携	✓	✓	✓
	エンタープライズとクラウド・サービスへの SSO 統合	✓	✓	✓
	DBMS や Microsoft® SharePoint® などのエンタープライズ・リソースとの接続、クエリ実行、データ取得	✓	✓	✓
	SAML 統合		✓	✓
	Amazon AWS AMI 統合		✓	
SOA	容易なオーケストレーション		✓	✓
	WS-* のサポート		✓	✓
	XACML		✓	✓
	MOM の調整		✓	✓
認証と通信	WebSocket		✓	✓
	XMPP		✓	✓
	OAuth および OpenID Connect	✓	✓	✓
モバイル	Android/iOS のプッシュ通知			✓
	相互 SSL と SSO 用のモバイル SDK			✓
	デバイス間セッション共有 (QR、BLE、NFC)			✓
	位置情報 (クライアントまたはネットワーク発)			✓
	API 向け Samsung KNOX (認証、コンテナ管理、完全性の検証、オンデバイス SSO)			✓
サポートされる標準	XML、JSON、Swagger、SOAP、REST、PCI-DSS、AJAX、XPath、XSLT、WSDL、XML Schema、LDAP、RADIUS、SAML、XACML、OAuth 1.0a/2.0、JWT、PKCS、Kerberos、X.509 証明書、FIPS 140-2、XML シグネチャ、XML 暗号化、SSL/TLS、SNMP、SMTP、POP3、IMAP4、HTTP (S)、JMS、MQ Series、Tibco EMS、Raw TCP、FTP (S)、WS-Security、WS-Trust、WS-Federation、WS-SecureExchange、WSIL、WS-I、WS-Addressing、WS-Policy、WSSecureConversation、WS-MetadataExchange、WS-SecurityPolicy、WS-PolicyAttachment、WS-I BSP、UDDI、WSRR、MTOM、IPv6、WCF			

CA Technologies (NASDAQ: CA) は、企業の変革を推進するソフトウェアを作成し、アプリケーション・エコノミーにおいて企業がビジネス・チャンスを獲得できるよう支援します。ソフトウェアはあらゆる業界であらゆるビジネスの中核を担っています。プランニングから開発、管理、セキュリティまで、CA は世界中の企業と協力し、モバイル、プライベート・クラウドやパブリック・クラウド、分散環境、メインフレーム環境にわたって、人々の生活やビジネス、コミュニケーションの方法に変化をもたらしています。詳細については ca.com/jp をご覧ください。